

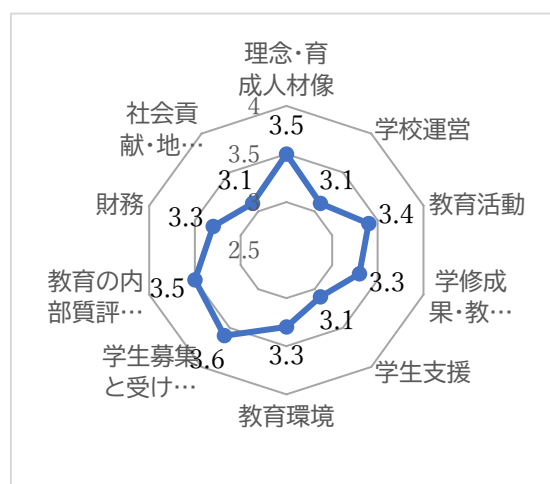
令和5年度学校関係者による評価

1. 方法

学校側が評価した自己点検・自己評価結果について、是非を問うと共に、課題と考えられる項目について意見及び質疑を交わした。

2. 結果

大項目基準Ⅰ～Ⅹの評価は、満点4点中平均3.3であり概ね良好であった。教育理念・目標、教育活動、学生募集・受入、内部質評価システムは、平均3.5であり概ね良好である。学校運営、学生支援、社会・地域貢献は、平均3.1と前年度より評価点が低い結果となっている。



3. 学校関係者委員会による総評

昨年度の結果を踏まえて、改善に向けて取り組まれている事が確認できた。今後もさらに検討を重ねられ、より質の高い教育が実践されることを期待する。来年度は、改正カリキュラムが適用され3年目となる。ぐしかわ看護専門学校のカリキュラムの特徴である「健康状況別看護（領域横断）」の評価について、目標達成度について期待する。

4. 各領域の評価

I. 教育理念・目的・育成人材像（評価3.5）

- ・建学の精神に基づき、教育理念・教育目標が明示され、ホームページを通じて一般にも公開されている。
- ・アドミッション・カリキュラム・ディプロマポリシー等を掲示し、学生に浸透していく取り組みがなされている。学生の評価も「そう思う」「ややそう思う」が86.6%で高い値であり、取り組みの成果が見られる。

II. 学校運営（評価3.1）

- ・看護師養成所の運営に関するガイドラインにおいて、教員等に関する事項では、「専任教員の業務を支援するシステム等の積極的な活用が望ましいこと」が挙げられている。また、「看護師養成所において遠隔授業を実施するための体制を整備すること」としている。そのような中で、情報システム担当者不在という状況は、教職員の負担増につながる事が予測される。そのため、早急に解決しなければならない課題である。
- ・「資格・要件を備えた教員を確保しているか」の評価3.5に関して、評価委員会の委員より指摘があった。引き続き、「専任教員として必要な研修を修了した者又は看護師の教育に関し、これと同等以上の学識経験を有すると認められる者」の確保をお願いしたい。

III. 教育活動（評価3.4）

- ・今後の引き続き、自己評価結果や学生からの授業評価結果を集計し、その結果を共有し、教授学習過程に活かして頂きたい。
- ・管理者や教育課程責任者が授業参観を企画し、教育の質向上や教員のやりがい感につなげられることを期待する。

IV. 学修成果・教育効果 (評価 3.3)

- ・令和6年第113回の国家試験合格率93.8%であり、全国の新卒合格率93.2%を上回った。
- ・評価項目の「学校は就業及び進学についての情報を知らせている」に対する学生による評価では、「そう思う」「ややそう思う」88.7%で高値を示している。継続して支援をお願いしたい。

V. 学生支援 (評価 3.1)

- ・就業に関する体制、学生相談に関する体制、経済的支援の体制など、学生に寄り添う姿勢が見取れる。継続して支援をお願いしたい。
- ・休学している学生ができる限り復学できるよう支援の強化をお願いしたい。

VI. 教育環境 (評価 3.3)

- ・評価項目の「図書は活用しやすく整備されている」に対する学生による評価は、「そう思う」「ややそう思う」100%である。また、「各教科の備品や教材教具が活用されている」「実習室の物品が揃っている」の学生評価も高値を示している。継続して支援をお願いしたい。

VII. 学生募集と受け入れ (評価 3.6)

- ・令和6年度の入学試験志願者は209人で減少率1%以下は素晴らしい成果である。引き続き、ぐしかわ看護専門学校ならではの取組みに期待する。

VIII. 教育の内部質評価システム (評価 3.5)

- ・教職員の自己点検・自己評価の評価者についての回答率が72.7%であり、昨年の62.5%より上回っている。質の高い看護師を養成していく責任と義務を果たすためには、全職員共通認識のもと実施できるよう取り組む必要がある。また、職員全員が参加できるような見直しが必要である。

IX. 財務 (評価 3.5)

- ・「令和6年度今後のぐしかわ看護専門学校について検討する会」が発足する予定との情報である。その中で、「看護師基礎教育4年制化」について議論の項目になることを期待する。

X. 社会貢献・地域貢献 (評価 3.1)

- ・評価項目の「地域の人々との交流やボランティアの機会がある」の評価項目は、75.3%であり、昨年度の67%と比較すると成果が見られる。次年度は、学生自らのボランティア活動への参加を期待する。